(1)

後に、

田

П

広報



2019年 (令和元年) 1月28日 広報部

行田

民大学令

和

元年度パ

師

は

前 日に

İ

ムペ

ジ

の投稿方法を学ぶ

民大学ノ 2

おれた。
師の挨拶

の挨拶のあと、



横山典子講師

日は経験者及びグループリー -向けパソコン講習会。 講

たりした。

よいよ投稿に

副部長より注意事項が説 広報部長の挨拶・今村理事長 田市教育センター「みら ソコン基礎講習会が8月20 20日の基礎編に続き21 20日は初心者講習会 毎年担当している横山講 広報部の 21日は基礎 講習会が行 民大学田 小小堤 明さ この新 新しいホームペー \mathcal{O} 真を縮小したり、 \mathcal{O} 横行 投 ホ 市 法 イ Щ 慣れ、 「では、 人市民大学活動 ックデザイン) サー 広報部員の声がけで、 Щ 田市民大学活動センター」。 稿方法の講義が行われ ームページができたの 典子代表 行田市民大学・ 講師の丁寧な説明と助手 大学を合わせた新し ホームページを使った 自分でいろ 6 トリミング センターと 月 に N P O NPO法人 ージ名はた。 今回 いろな写 グラフ 次第

挨拶に続き、

開催責任者の市

加

者17名

ない。 事 \sim が ページ用のI D 0 ージに投稿された自分の記 義な時間を過ごせた。 丁寧な説明 ある学習態度と講師の優し 声が上がった。 渡された。 及びパスワード いての講習。 に「わあ、 従来のホー 参加者に新し すごい。」など Dとパスワ 実際にホー -は使 最後まで有 ·ジ 用 *\)* 常者の意 用 朩 でき \mathcal{O} Δ F A Ι 法 行

一の講

で、

加者15名

日と21日に開催。

熱心な受講者

拶があり、 及び各グループの活動報告等 今後の市民大学の授業の内容 講習会が終了した。 にぜひ活用してほ 部長より、 二日間のパ この経験を活 L いとの挨 ソコン かし

スワー 民大学ホーム に切り替わ の投稿は新し ニュアル 田市民大学活動センター」 行田市民大学・ 今年度から行田 り、 が ~ いホームページ 現在の行田市 投稿する方 ジは来年3 NPO法人 市民大学 ージに D と パ

からというお話に、受講者の うタイトルで、 ネットワー がおそらく千葉から来た人だ いては、将軍山古墳の 石 km る房州石を使用。なぜ120 もつかさどっていた。 ふ)船を操る集団は、川 を伺った。 古墳時代における荒川 埼玉古墳群」~埴輪から見た 二氏。 土への理解が深まった。 を、石室に使ったのかに も離れたところにある房州 室には千葉県鋸南町で 埼玉古墳群の将軍山 古代の クの具体像 興味深いお話 被葬者 今とい の海部 治軍と 古 0 かい ·つ



若松良一講師

舟運と埼玉古墳群

20

19年10月10日の

埼玉県立文書館

0

年生講義「古墳時 代 の

も大学ぎょうだ修

て、 七大学 116 3 太

行

田北

くり大学での修了式 ものつ

された。 することを目的とした「子ど も大学ぎょうだ」の修了式が NPO法人子育てネット行 センター、 NPO法人行田市民大学活動 ものつくり大学建設棟で開催 を刺激する学びの機会を提供 令和元年9月21日 行田市教育委員会が連携 子供たちの知的好奇心 ものつくり大学、 $\widehat{\pm}$

授与された。子どもたち 年生から6年生、 りの子どもたちに修了証書が 大学学長の赤松明氏 ども大学修了式」では子ども くり大学長)より、 修了者は行田市内の小学4 4 6 名。 (ものつ 人ひと

うだ修了式は、 令和元年度の子ども大学ぎょ 達ができたこと、心に残るの 学行田を通してたくさんの友 書を受け取ると、うれしそう 保護者の方々も見守る中で、 調理だったと述べた。 は 楽しく学べたこと、子ども大 先生方・スタッフへの感謝と、 生代表は6年生。 に学長と握手を交わした。 ロケット作りと地元野菜の ŋ \mathcal{O} 角帽 をかぶ 無事修了。 ~り、 、 大きな声で 修 了 学 証 で、

され、 学の教育活動を支えていく。 子ども大学担当者も、 も大学として、令和元年度「埼 動 活 地 玉・教育ふれあい賞」に選定 出席。これからも子ども大 センターまちづくり支援部 動 域の教育力を結集した子ど NPO法人行田市民大学活 「子ども大学ぎょうだ」は、 センターで、表彰された。 10月19日埼玉県民 表彰式



赤・青・緑・黄組に分かれて が開催された。子どもたちは 10月8日にミニ運動会 小わくわくクラブ 「へび 人力車を引く子どもたち 遊んだ。 どもたちは、エネルギッシューがんばれ!」の大声援。子 さんたちも笑顔になった。 で、 事到着。三番目は「人力 ゴー!」大きな歓声の くクラブ」の教室に戻り、 麻袋を、二人で引っ張 があると、子どもたちもお 運動会でよくがんばりました に来た家の人に、 果発表と終わりの会。 のせて、 レー。最後は「障害物競走」 \mathcal{O} 運 」とスタッフから 休み時間も麻袋に友達を 動 会 体育館から「わくわ みんなで引っ張って 続 1 7 「今日は、 お迎え 電 声が り、 車 結 0 0 IJ け 無 母 で

ども大学担当部長と

行田市教育委員会担当者

台風19号が猛威を振るい、各地に甚大な被害をもたらしました。災害に備えてハザ編集後記 一所・防災用品の確認をしっかりすることが必要だと痛感しま 田口修 茂木幸蔵

NP0 =

ども教室「北小わくわくクラブ」を運営している。 門からなる。放課後子ども教室は、行田市教育委員会や小部は子ども支援(子ども大学)と放課後子ども教室の二部 ンターは小学校1~3年生の希望児童を対象に、 後の子どもたちを預かる。 学校との協同で、 実施される。 NPO法人行田市民大学活動センターのまちづくり支援 放課後の子どものあり方を研究し、 NPO法人行田市民大学活動 放課後子 放課 セ